

組合員一人ひとりが活動に参加して 労働者の権利や職場環境を改善したい



堺市立病院機構労働組合

執行委員長 南 美佐さん(放射線・内視鏡センター 後列中央) 書記長 杉山 裕次さん(中央手術室 後列右端)

堺市立病院は、第3次救急指定病院です。重症・重篤患者に対して医療を行う病院で、堺市内だけでなく、大阪の医療を担う中核となる病院です。2012年4月に地方独立行政法人に移行しました。今回は、医療の最前線で働く仲間の組合、堺市立病院機構労働組合をご紹介します。

医師・看護師を増やせの運動で、組合活動の大切さを感じました

南委員長は「堺病院時代に就職して組合員としても35年になります。放射線・内視鏡センターで勤務しています。前委員長が定年になり、後任として白羽の矢がさりました(笑)」と話します。

組合運動では、全国の集いや、「医師・看護師ふやせ」の要請行動で様々な話を聞くことができました。その中で、組合活動を行うことの大切さをあらためて感じる事ができたと言います。「こんな話を多くの人が聞くチャンスがあれば、どんなに良いだろう」と思ったそうです。

趣味はスポーツ観戦や映画鑑賞で、休みの時は夫婦で時々出かけるそうです。

患者さんの健康を取り戻すための仕事にやりがいを感じています

杉山書記長は「職場は手術室です。堺市立病院は三次救急指定なので、本当に生命の危険がある患者さんが来られます。そういう方々の健康を取り戻すための業務に携わることができているのが一番のやりがいです」と語ります。

今年7月の定期大会で書記長に選ばれました。「もともとは自分の職場で輪番で組合の執行委員になったのですが、あれよあれよと気づいたら書記長になっていました(笑)」

「コロナ禍の中で、自分自身のことで精一杯になってしまいがちですが、組合活動を通じて色々な話を聞く機会を得られたことが一番の学びです」と話してくれました。

今は家庭菜園にはまっているそうで、メロン、茄子、カボチャ、落花生、トウモロコシ、白菜、ブロッコリーと、本格的です。すごいですね。

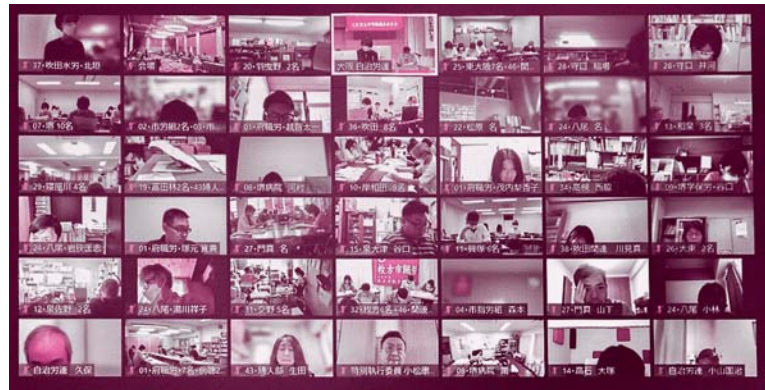
組合員一人ひとりの力を引き出すように

南委員長と杉山書記長は、「組合員の活動参加を大切にしたい」と話します。杉山書記長は「組合活動に関わることで、職場環境を改善することになることを知ってもらえるようにしたい」と抱負を語りました。南委員長は「組合員一人ひとりが、どう考え、どう参加していくことが大事なのかを理解してもらい、行動してもらえようがんばりたい」と話してくれました。

憲法と地方自治の花ひらく希望ある 平和な社会へ

なかまを増やし
賃上げと
格差是正すすめ

大阪自治労連第35回定期大会



オンラインでつながった仲間たち

大阪自治労連は、大阪市内で9月11日に第35回定期大会を開催しました。

今大会も昨年に引き続き、コロナ感染対策を図り、WEB併用の大会となりました。

維新政治をはね返すたかひや、コロナ感染拡大のなか、懸命に奮闘する職場実態など、様々な報告がありました。

今こそ憲法をいかし、正規・非正規の格差是正、住民や職員のいのちとくらしを守るための運動方針を確立しました。

(2・3面に特集記事)